

2本の黒帯を装う点で、日本産の他のナガツツハムシ類から明瞭に区別される。従来、台湾および中国から記録されているもので、琉球列島からは初めての記録となる。

本属は日本から初めて記録されるもので、体型はやや太目で短く、上翅の側片は基部が顕著に拡がり、尾節板が露出していることが特徴である。

2 exs., 沖縄県竹富町西表島船浮, 3. V. 2012, 大木裕採集 (標本は大木・滝沢保管)。

引用文献

Chûjô, M., 1952. A taxonomic study on the Chrysomelidae from Formosa, part 5, Clytrinae. Techn. Bull. Kagawa Agr. Coll., 4 (1): 32-49.

木元新作・滝沢春雄, 1997. 台湾産ハムシ類 幼虫・成虫分類図説. 581pp., 東海大学出版会.

(大木 裕 225-0015 横浜市青葉区荏田北
2-17-13)

(滝沢春雄 349-0122 蓮田市上 2-7-16)

【短報】千葉県におけるクロサワドロムシの記録

クロサワドロムシ *Neoriohelmis kurosawai* Nomura, 1958 は、河川上流域を中心に生息する種で (吉富ほか, 1999), 南関東では埼玉・神奈川両県に記録があるが、神奈川においては1例と少ない (新井, 2007; 守屋, 2004). 北関東・南東北・新潟県などでは比較的普通とのことである。最近、千葉県産甲虫の新記録種をまとめた報文が発表された (鈴木・斉藤, 2011). そこで、最近の全国誌等も含めた既報を調べたところ、本種は千葉県未記録の可能性が高いことがわかった。古い記録になるが、筆者は、既知産地から飛び離れた房総丘陵の標本を所持しているの、報告しておく。

1 ex., 千葉県富津市高宕山, 24. V. 1992. 鎌倉正人採集。

沢の源流部をつめて歩いていたとき、足元で偶然見出したものと記憶している。外観がやや細身の個体である (図1)。

末筆ながら、本種であることを確認いただいた



図1. 千葉県産クロサワドロムシ。

愛媛大学の吉富博之博士に厚くお礼を申し上げる。

引用文献

新井浩二, 2007. 埼玉県のヒメドロムシ類. 寄せ蛾記, (125): 1-21.

守屋博文, 2004. 県内産ヒメドロムシの追加と削除. 神奈川虫報, (146): 50.

鈴木 勝・斉藤明子, 2011. 千葉県動物誌, 千葉県産動物総目録に掲載されていない甲虫422種. 房総の昆虫, (48): 1-26.

千葉県史料研究財団, 2003. コウチュウ目. 千葉県産動物総目録: 207-258.

山崎秀雄, 1999. 千葉県の鞘翅目, pp. 634-718. 千葉県動物誌. 1247 pp., 文一総合出版, 東京.

吉富博之・白金晶子・疋田直之, 1999. 矢作川水系のヒメドロムシ. 矢作川研究, (3): 95-116.

(鎌倉 正人 215-0021 川崎市麻生区上麻生 6-1-26 柿生グリーンハイツ 101)

【短報】埼玉県嵐山町で採集されたクリイロヒゲハナノミの北限記録

クリイロヒゲハナノミ *Macrotomoxia castanea* Pic, 1922 はハナノミ科ハナノミ族に属する甲虫である。体長は8~16.5 mm と大型で、複眼の個眼が大きく粗いことや、採集例のほとんどが灯火であることから、夜間活動性の種と考えられている (高桑, 1998)。

本種の分布は広く、南はマレーシア (マレー半島) やインドネシアのボルネオ島から、北は日本の本州まで記録されているが、九州以北での採集例は少なく、東洋区要素の昆虫と考えられる。これまでの分布北限記録は埼玉県入間市で、益本仁雄氏により大妻女子大学構内の白壁に静止している個体が得られている (高桑, 2006)。

筆者の一人である鶴は、埼玉県嵐山町の菅谷館跡の林内において、ライトトラップによる採集調査を行ない本種を採集したので報告する。採集に使用したのは野村 (2010) によって紹介されている“中瀬式ライトトラップ”で、電源をアルカリ乾電池としたなど若干の仕様の違いはあるが、他の部分



図1. クリイロヒゲハナノミ♀ (埼玉県嵐山町産)。

はほぼ同様である。設置期間は2012年8月6日の夕刻から翌7日の昼までで、地上から約1mの位置に2基設置し、その内の1基で採集された。採集地である菅谷館跡は、これまでの分布北限記録である入間市より約26km北に位置していることから、本種の北限記録が少し北上したことになる。

1♀、埼玉県比企郡嵐山町菅谷館跡、6~7. VIII. 2012、中瀬式ライトトラップ、鶴智之採集・保管。

採集地である菅谷館跡は、コナラ、クヌギを主とした豊かな雑木林が残されており、この他にもアラカシやスダジイなどの照葉樹（常緑広葉樹）が点在する。高桑（1976）は、鹿児島県徳之島で採集したオキナワウラジロガシの枯れ木から成虫が羽化脱出したのを確認していることから、生息にはシイ・カシ類の茂る森林環境が必要と考えられる。嵐山町周辺は、スダジイを主体とした照葉樹林が分布する関東内陸部の北限にあたり、隣接する小川町には県指定の天然記念物となっているスダジイの巨木の森がある。また、嵐山町内にも寺社の所有地で同様の植生が残るなど、近世以後の人為的な開発を免れた照葉樹林が存在し、クリイロヒゲハナノミのような東洋区系要素の種が生

息できる環境がcaろうじて維持されているといえる。なお、本州の照葉樹林の分布については、太平洋沿岸地域では茨城県北部にまで及ぶことから、こうした地域で調査を行うことにより、本種の分布北限がさらに更新されるかもしれない。

末筆ながら、本種の過去の分布記録についてご教示頂いた神奈川県立生命の星・地球博物館の高桑正敏博士に厚くお礼申し上げる。

引用文献

- 野村周平, 2010. 石垣島で中瀬式ライトトラップ(NLT)によって採集されたアリヅカムシ. 甲虫ニュース, (172): 1-6.
高桑正敏, 1976. 八重山諸島のハナノミ族リスト. Elytra, Tokyo, 3: 15-18.
高桑正敏, 1998. 日本産ハナノミ科ハナノミ族概説. 甲虫ニュース, (123): 1-4.
高桑正敏, 2006. 埼玉県初記録のクリイロヒゲハナノミ. 甲虫ニュース, (154): 28.

(鶴 智之 942-1411 十日町市松之山松口 1712-2
十日町市立里山科学館「森の学校」キョロロ)
(新井浩二 355-0216 比企郡嵐山町むさし台
3-22-13)

定期購読のご案内

月刊むし

B5判, 56~80頁 毎月20日発売
定価1200円(送料100円)

「月刊むし」は、1971年3月に創刊された昆虫専門の月刊雑誌で、30年以上続いて発行されています。過去のバックナンバーの内容はむし社HPをご覧ください。
<http://homepage2.nifty.com/mushi-sha/>



505号 (2013年3月号) カミキリ特集号

- オホーツクのカミキリムシ
- 北アルプス・カミキリ紀行
- 石垣島のススキサビカミキリは飛べない
- 伊豆大島のカミキリムシ
- 尖閣諸島のカミキリムシ

504号 (2013年2月号)

- ナチセスジゲンゴロウとカンムリセスジゲンゴロウの混生地
- ヤマトオサムシダマシの再発見
- 国内外来種リュウキュウツヤハナムグリ

昆虫用品は

むし社

検索

「月刊むし」定期予約購読

本誌は一般書店での販売のほか、定期予約購読も行っております。定期予約の場合、送料は無料で、次のように誌代も割引となりますので、ぜひご利用下さい。

6ヶ月 予約 定価 7200円 → 7000円
12ヶ月 予約 定価 14400円 → 14000円
24ヶ月 予約 定価 28800円 → 28000円

お申し込み方法

郵便振替用紙に「月刊むし予約」と明記のうえ、下記の口座あてにご送金ください。

郵便振替口座 00160-5-159262 むし社

新規お申し込みは、当月発売分よりとさせていただきます。



月刊むし・昆虫図説シリーズ2

日本のネクイハムシ

- 日本のネクイハムシ全種(23種)と世界の主なネクイハムシを掲載!
- 代表的な生息環境とそこでみられる種を、環境写真、生態写真で紹介。

著者: 林 成多

A4判, 上製本 96頁(48カラー頁)

定価 6,720円

(税込・送料サービス)

むし社

〒164-0001 東京都中野区中野 2-23-1-209

Tel. 03-3383-1461~1462

Fax. 03-3383-1467